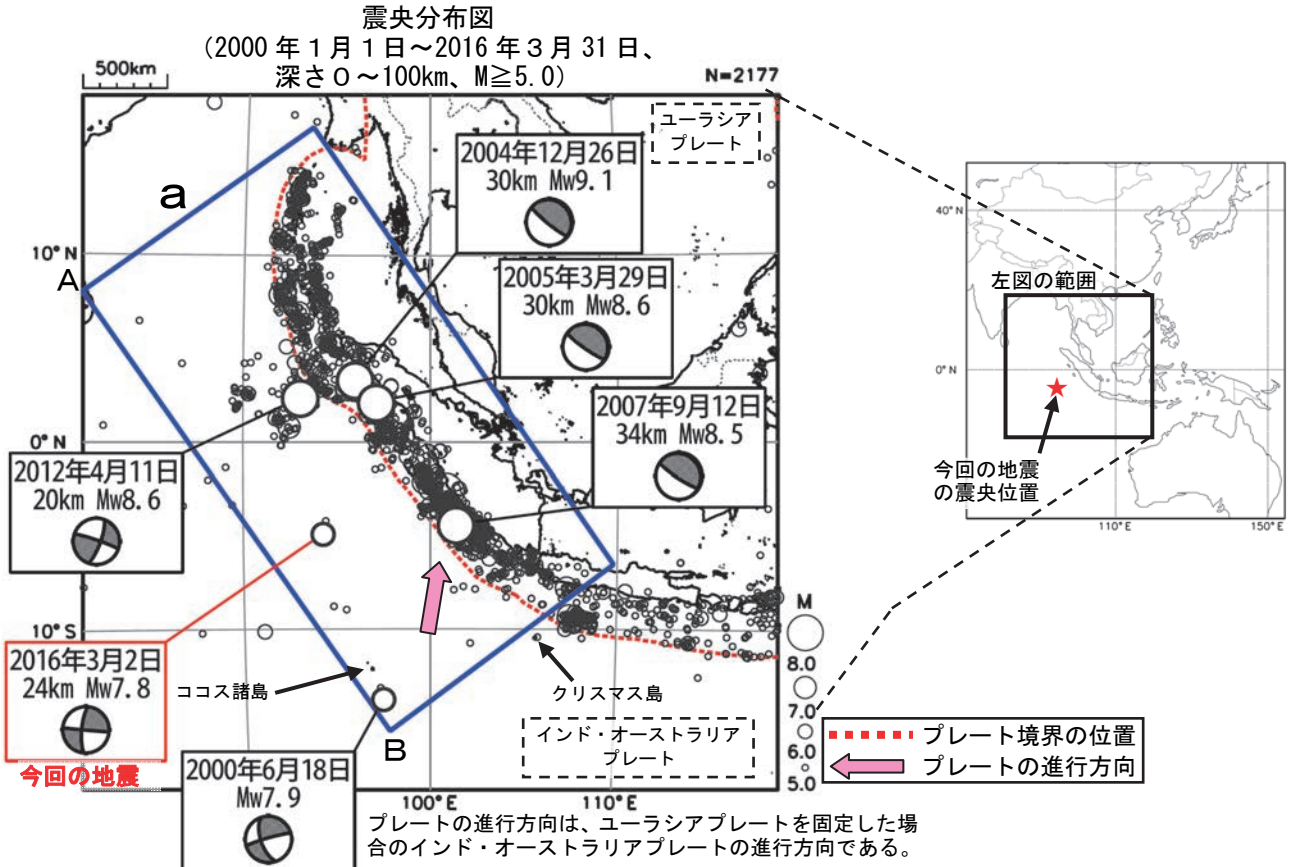


## 3月2日 インドネシア、スマトラ南西方の地震

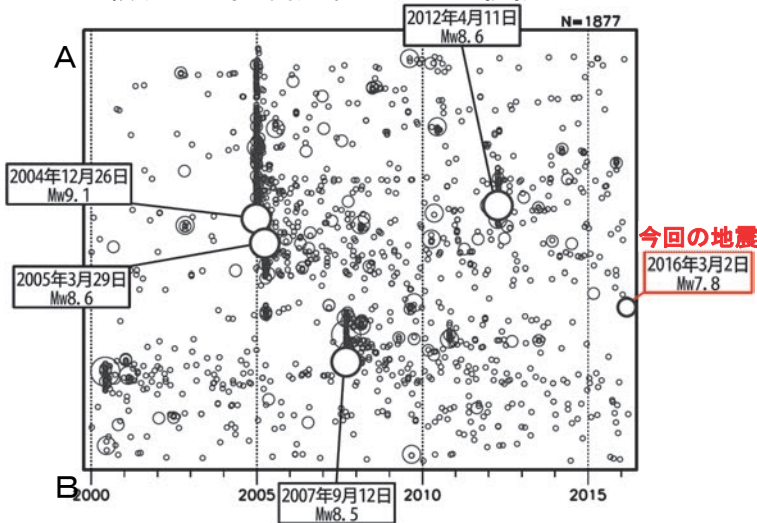
2016年3月2日21時49分（日本時間）に、インドネシア、スマトラ南西方の深さ24kmでMw7.8の地震が発生した。この地震は、ユーラシアプレートの下に沈み込む前のインド・オーストラリアプレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は、北東-南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、オーストラリアのココス諸島、クリスマス島で微弱な津波が観測された。

領域aでは、2004年12月26日に発生したMw9.1のインドネシア、スマトラ島北部西方沖の地震以降、M7.0以上の地震や被害が生じた地震が時々発生している。今回の地震は、海溝軸の外側で発生しており、プレート境界で発生したMw9.1のインドネシア、スマトラ島北部西方沖の地震の一連の活動とは異なる。

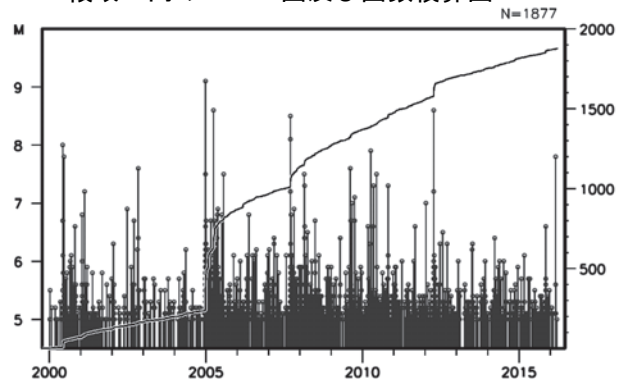
なお、気象庁は、今回の地震について、同日22時21分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響はなし）を発表した。



領域aの時空間分布図（A-B投影）



領域a内のM-T図及び回数積算図



本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。2012年4月11日の地震(Mw8.6)のMwは気象庁、2004年12月26日の地震(Mw9.1)のMwは理科年表、その他の地震の吹き出しのMwはGlobalCMTプロジェクトによる。震源要素は米国地質調査所(USGS)による。(2016年3月28日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.